



**3月11日前橋テルサ
パネルディスカッションで
防災を考えよう**

問い合わせは
前橋青年会議所 ☎ 234-3670

シンポジウム「前橋市の防災・減災」を開催します。パネルディスカッションを通じて、防災・減災の方法などをみんなで考えましょう。
日時＝3月11日(月)午後7時～9時
会場＝前橋テルサ
対象＝一般、先着500人
申し込み＝当日会場へ直接



転倒防止対策の例

**できることから
大切です**



**始めてみましょう
地震の備え**

おとしし3月11日に発生した東日本大震災の惨事から間もなく2年。前橋市が今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を2・6割と国の地震調査委員会は発表しました。これは東日本大震災を踏まえ算出された数値ですが、巨大地震がいつ、どこで発生するかわかりません。日頃から、しっかりと地震に備えましょう。

問い合わせは 危機管理室 ☎ 8968-15935

自宅など安全対策を

- **住宅の耐震化進めよう**
建築後、年数の経過した建物は地震に対する倒壊などの危険性が高くなります。自宅などを総点検し、瓦の落下防止や建物の補強工事など耐震対策を進めましょう。
- **家具の転倒・落下防止を**
タンスなど家具の転倒防止には、L型金具・家具転倒防止具(着圧ポール)・家具転倒防止用安定板(家具の下に挟む板)などが効果的。金具を固定する壁や柱の強度を確認して設置しましょう。(写真①～③を参照)
食器棚などは転倒防止とともに、ガラス飛散防止フィルムを貼ることも必要です。また、開き戸が開かぬよう開閉防止金具を付けると、食器類が飛び出ることを防げます。冷蔵庫は背面にベルト取り付け口などがある製品も。ベルトで壁面に固定して設置しましょう。
- **照明器具の取り付け補強も**
天井に直接取り付けられる照明器具が比較的安心。吊下げ式は鎖や金具を使い補強しましょう。
- **避難スペースを考えて**
人の出入りが少ない部屋に大きな家具類をまとめて置きます。居間や子ども部屋などは、安全な避難スペースの確保が大切です。
- **避難路を確認しましょう**
安全に避難できるよう外への出入り口までの通路に、倒れやすい物を置いてはいけません。

連絡方法を確保して

- 大規模災害が起きると電話がつかないことも。通話混雑を避けるため、次の災害用伝言サービスがあります。家族で相談しておき、活用しましょう。
- **固定電話**
①災害用伝言ダイヤル「171」をダイヤルし、録音は「1」を、再生は「2」を選んでください②市外局番から固定電話番号(被災地の電話番号)をダイヤル③30秒以内に録音または再生されます。
 - **携帯電話**
①各携帯電話会社のメニュー画面に表示される「災害用伝言板」を選択②「登録」画面で、現在の自分の状況を「状態」と「コメント」に残します③「確認」画面で、安否確認したい人の携帯電話番号を入力して、「検索」ボタンを押します。
 - **インターネット**
①「WEB171」災害用ブロードバンド伝言板 (<https://www.web171.jp/>)へアクセス②被災地の人の携帯電話番号を入力すると、伝言を登録・確認することができます。

頼れる自主防災組織

地震によって家屋の倒壊や火災などの災害が発生したとき、自主的に救助や初期消火、避難誘導などを行う自主防災組織があります。現在、自治会などを中心に181地区で組織され、活動中です。東日本大震災以降、多くの自主防災組織が危機意識を新たにし、防災訓練や防災講座など積極的に取り組んでいます。日頃から隣近所との関係を深め、いざというとき、



高花台一丁目自主防災会の消火訓練

自分や家族の命を救うため自主防災組織の活動に参加しましょう。